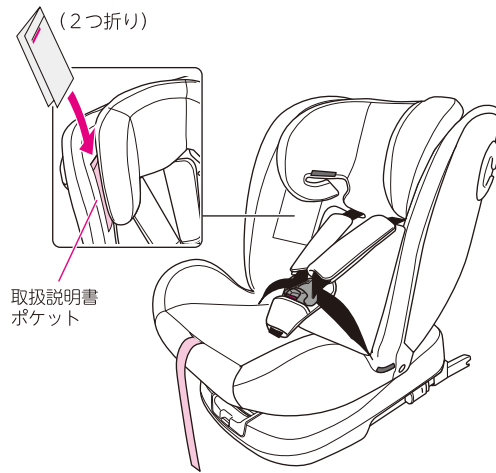


# 取扱説明書 保証書付

## はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。  
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。  
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



i-Size(アイサイズ)  
チャイルドシート/ブースターシート  
型式/TYP E : C06200  
規則/Regulation : UN R129/03  
サイズ範囲/Size Range :  
身長 40cmから150cm以下

リーマン株式会社 www.leeaman.co.jp  
〒496-0911 愛知県豊西市西保町南川原68-1  
お客様相談室  
TEL. (0567) 27-0173  
受付時間 月曜日～金曜日(祝日・弊社指定日は除きます)  
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

**表示マーク** この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- 禁止** 図示されている内容の禁止を示しています。
- 確認** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
- アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
- うまくいかない時は** うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

C6207

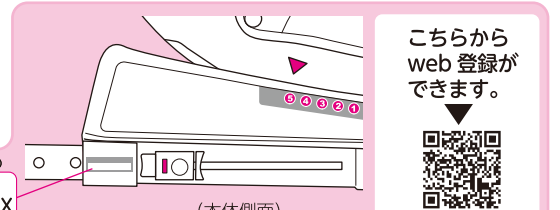
## クイックガイド/目次

事前準備	お車に取付ける	お子さまの乗せ降ろし	メンテナンス
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 適合の確認</li> <li>2 取付けできない座席</li> <li>3 作業スペースの確保</li> <li>4 ご使用上の警告/注意</li> <li>5 使用条件の確認</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ベビーモード</li> <li>2 チャイルドモード</li> <li>3 ハイバックモード</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 取り付け準備</li> <li>2 ISOFIXコネクタを差し込む</li> <li>3 トップテザーをアンカーに接続する</li> <li>4 接続表示確認と固定確認</li> <li>5 お車から取りはずすとき</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ベビーモード</li> <li>2 チャイルドモード</li> <li>3 ハイバックモード</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 乗せる準備をする(幼児ベルト引きのばし方)</li> <li>1-2 2-2 お子さまを座らせる</li> <li>1-3 2-3 幼児ベルトの高さ調整</li> <li>1-4 2-4 お子さまを拘束する(幼児ベルト調節)</li> <li>1-5 2-5 拘束ポイントを確認する</li> <li>1-6 2-6 お子さまを降ろす(幼児ベルト調節)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 カバーを取りはずす/取り付ける</li> <li>2 重要な注意すべき点</li> <li>3 洗濯と日常のお手入れ</li> <li>4 保管/廃棄の仕方/製品仕様</li> </ol>

## 事前準備 はじめにシリアルNo.をお控えください。

【本取扱説明書(オモテ面)上の保証書】、および同梱の「チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ」に「シリアルNo.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に【13:シリアルNo.】をお控えください。 ※車両への取付け後、車両シートで【13:シリアルNo.】が見えない場合があります。

13:シリアルNo. SERIAL No. C06200-XXXX



## 1 適合の確認

**R129とは i-Sizeとは**  
R129とは、精度の高いゲーム人形の使用や側面衝突に関する試験等、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国際規格です。  
i-Sizeとは、お客様が簡単・確実に取り付けられることが出来る ISOFIX 固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリです。i-Size 適合車両のシートには、全般的に適合します。  
※それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。  
また i-Size チャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮するために、お子さまの身長にあわせて使用法として、生後 15 ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。

**ISOFIXとは**  
ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置された ISOFIX 取付け金具を使用します。本製品は、i-Size 適合の車両だけでなく、ISOFIX 表記やマークのある車両に使用することが出来ます。

身長	設置向き	設置方法	カテゴリ
40-87cm	後向き	ISOFIX + トップテザー	i-SIZE
76-105cm	前向き	ISOFIX + トップテザー	i-SIZE
100-150cm	前向き	車両3点式シートベルト + ISOFIXコネクタ 車両3点式シートベルトのみ	i-SIZE ブースターシート

**取付け可能な車両シートベルトの種類**

シートベルトの種類と特徴	前向き取付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に入出力し、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他 上記にあてはまらないシートベルト。	使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

## 2 取付けできない座席

- ISOFIX 取付け金具が装着されていない座席。前向き取付け時に取付け金具を使用しない取付け方法もあります。
- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが43cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび傾斜の座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- 本製品を取付けた際に回転に支障を及ぼす座席及び前部中央座席。(万が一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 助手席には取付けないでください。
- 極端なパケットタイプなどの座席。(取付けた本製品が安定しません。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、本製品を固定できない座席。

## 3 作業スペースの確保

- 安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。
- 取付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
  - 車内の作業スペースを確保するため、ドアを開き、前座席を前に倒したり、前にスライドさせてから取付けください。
  - 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

## 4 ご使用上の警告/注意

- 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ヘルムが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げず着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 本製品のバックルをはずすまでは使用は危険です(ハイバックモードを除く)。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、iBOX車やミニバンのセカンドシート乗員側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないよう注意してください。ときどきタンクがバックルからはずれていることを確認してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- 本製品を改造したり、カバー類、クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずす時の使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座席を敷いたまま、取付けないでください。ゆとりが固定されません。
- お子さまを車内にひとり放置すること絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目はなさないでください。
- お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバッグ装着の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないように調整してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。
- 本製品のシートを横向きにしたまま走行しないでください。  
横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。(お子さまの乗せ降ろしするときのみ横向きでご使用ください。)

## 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

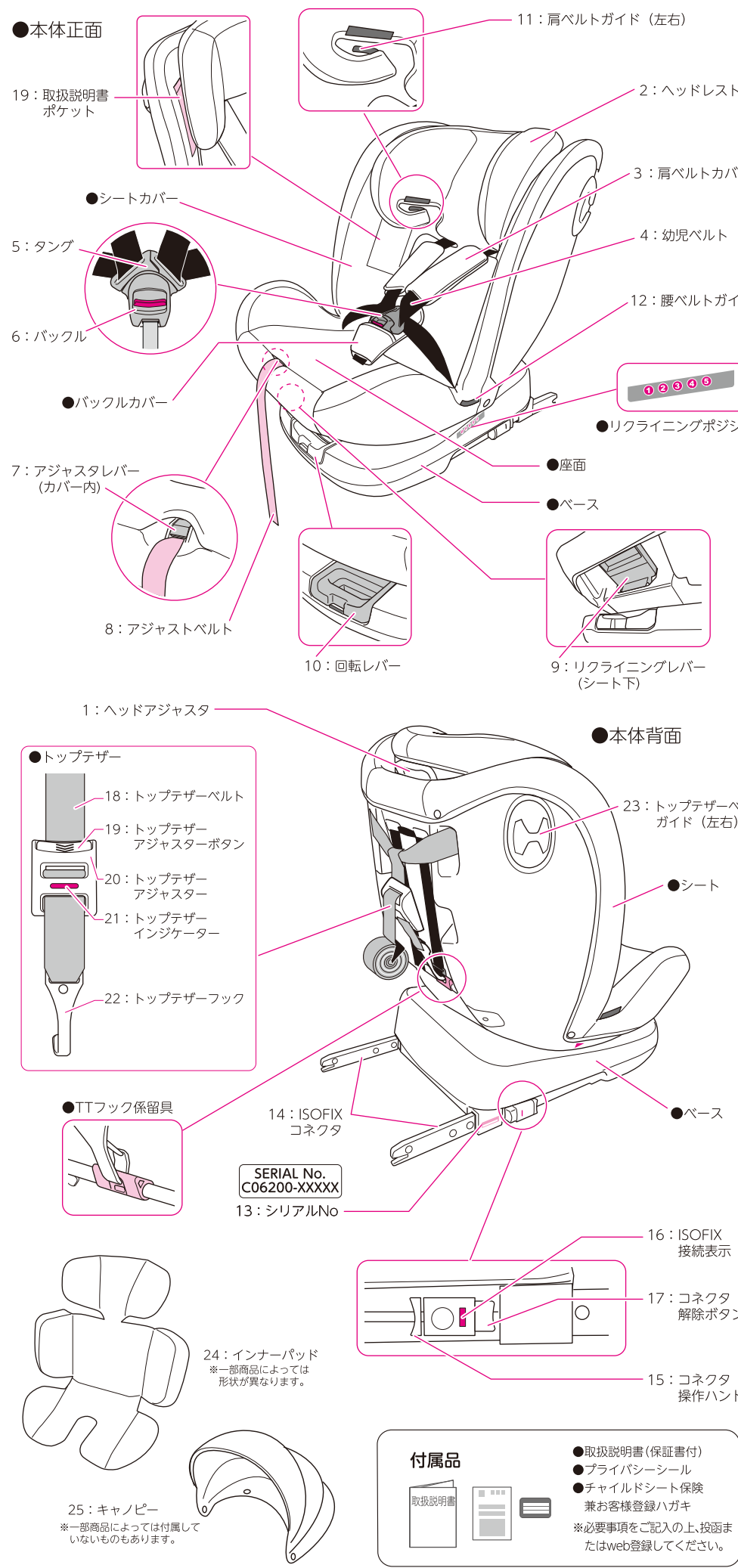
- お子さまを乗せる際は、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずししないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけたとき、転倒してケガなどをされるおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上ったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 座席の材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式座席または車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なものでも傷つけないように注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付けの車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者がおこなってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもちたないでください。故障の原因となります。
- 爪をのばしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

## 5 使用条件の確認 お子さまの身長に合わせた、下記使用条件に合わせてご使用ください

お子さまの身長	1. ベビーモード (使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5)	2. チャイルドモード (使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5)	3. ハイバックモード (使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5)
40cm~87cm	後向き取付け	前向き取付け	前向き取付け
76cm~105cm	後向き取付け	前向き取付け	前向き取付け
100cm~150cm	前向き取付け	前向き取付け	前向き取付け
固定方法	ISOFIXコネクタ + トップテザー + 幼児ベルト		本モードでは2通りの固定方法があります ①車両3点式シートベルト + ISOFIXコネクタ または ②車両3点式シートベルトのみ
バックナー	身長が40~60cm		身長が60cmを超える場合

## 6 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることを確かめください。  
※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



## 7 リクライニングのしかた

各モード、お子さまの身長に関係なく、お子さまの様子に合わせてシート角度を5段階で調節することができます。  
A シートの下にある [9: リクライニングレバー] を引き上げながら、シートのリクライニング角度を調節します。(前向き/後向きともに5段階)  
B [9: リクライニングレバー] から指を離してシートをリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認する。

- トップテザー使用時(1ベビーモード、2チャイルドモード)のリクライニング操作の場合、[18: トップテザーベルト] が緩む可能性があります。緩んだまま使用すると、本来の性能を発揮できず重大な傷害につながるおそれがあります。リクライニングを操作するたびに、[18: トップテザーベルト] を張り直してください。
- 本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。 ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- ベース背面やシートの背面、[9: リクライニングレバー] の下のすき間に指や手などをいれたまま、リクライニング操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。

## 8 シートの回転のしかた

取付け向きの変更、また、お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シート部を回転させることができます。(全のリクライニングポジションで回転できます。)

- A ベースにある [10: 回転レバー] を引きながらシートをまわす。動き始めた [10: 回転レバー] から指を離し、「カチッ」と音がしてロックするまでまわす。シートが[後向き]または[前向き]の位置で固定します。
- B 走行前、シートを回転方向にゆすり、ぐらつきがないことを確認する。また、お子さまを乗せ降ろしする場合は、シートを横向きの位置でご使用ください。(この時シートは固定しません。)
- 本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。
- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。 ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- 本体背面のベースとシートの間のすき間、[9: リクライニングレバー] の下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 縦向きにしたままドアを開けないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

## 9 ヘッドレスト調節のしかた

[1:ヘッドアジャスター]を上向きにつまみながら上下させる。[2:ヘッドレスト]の高さと連動して[2:ヘッドレスト]にある[11:肩ベルトガイド]の高さが14段階変更できます。

- 車両ヘッドレストに干渉する場合は、車両ヘッドレストを上げるか取りはずして使用してください。

## 10 キャンピーの使用法

●身長:40~87cm(月齢が15ヶ月まで)のお子さまで[25:キャンピー]をご使用いただけます。

- 取付け方**  
ヘッドレストカバー両サイドにあるホック2カ所と、背面の2カ所ホック位置とキャンピーの4カ所のホック位置を合わせて取付けます。取りはずす際は引っ張らず、ホック周囲のカバーをおさえながらゆっくり丁寧にはずしてください。
- [2:ヘッドレスト]を一番上の位置にする**と取付けやすくなります。
- オープンロックの方法**  
開いた状態でホック固定ができます。
- キャンピーは、後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突などに本来の性能を発揮できず重大な害を負う可能性があります。
  - キャンピーは、お子さまの身長:40~87cm(月齢が15ヶ月まで)を超えた場合、お子さまの手が届いたり身体に触れる場合は、使用しないでください。
  - 本製品を持ち運ぶ際は、キャンピー部分を持たないでください。
  - キャンピーの上部に、ものを載せてはいけません。
  - キャンピーに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。
  - キャンピーを取りはずした際は、お子さまの手が届かない場所で保管してください。
  - 芯材が曲がるなどにより変形した場合は、使用しないでください。
  - 破損や破れが生じた場合は、使用しないでください。芯材が露出し危険です。
  - キャンピーを洗濯する際は取り外してから洗いしてください。(洗濯機使用は不可)
  - 本製品以外での使用や、本来の目的の使用はしないでください。

**付属品**

- 取扱説明書(保証書付)
- フライバーシール
- チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ
- 車内取付け金具

※必要事項を記入の上、取扱説明書またはWeb登録してください。





STEP1. 車両へ取付の前に、お子さまの身長に合わせてモード設定をおこないます。 ●お車への取付けの際、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室までお問い合わせください。(TEL.0567-27-0173)

### 1. ベビーモード

お子さまの身長が 40~87cm の場合

設定

- シート向き設定 → 後向き (オモモ面) 参照
- インナーパッド設定 → 身長 40cm~60cm のお子さまは使用 ※60cm を超える場合は使用不可
- トップテザー → 使用
- 5段階のリクライニングポジションは全て使用可 (オモモ面) 参照

### 2. チャイルドモード

お子さまの身長が 76~105cm の場合

設定

- シート向き設定 → 前向き (オモモ面) 参照
- インナーパッド設定 → 使用不可
- トップテザー → 使用
- 5段階のリクライニングポジションは全て使用可 (オモモ面) 参照

### 3. ハイバックモード

お子さまの身長が 100~150cm の場合

設定

- シート向き設定 → 前向き (オモモ面) 参照
- インナーパッド設定 → 使用不可
- トップテザー → 使用不可 (本体) 参照
- 5段階のリクライニングポジションは全て使用可 (オモモ面) 参照

STEP2. チャイルドシートを座席にISOFIX固定をします ●お車への取付けの際、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室までお問い合わせください。(TEL.0567-27-0173)

### 1 取付けの準備

1.ベビーモード 2.チャイルドモード 3.ハイバックモード

A 本体背面のトップテザーを取り出し、巻いてある [18: トップテザーベルト] をほどく。

B [19: トップテザーアジャスターボタン] を強く押しながら、左右の [16: ISOFIX 接続表示] を奥下に約 1m ずらし、長さを確保した状態で、そのまま本体正面側へ仮置きしておいてください。

C [14: ISOFIX コネクタ] が ISOFIX 取付け金具の高さに届かない場合は、ベースの下にタオルなどを敷いて高さを調整してください。

D ベースを前後させ、[14: ISOFIX コネクタ] が伸縮しない (ロックされている) ことを確認する。

### 2 ISOFIXコネクタを差し込む

A [17: コネクタ解除ボタン] を押しながら 左右の [14: ISOFIX コネクタ] を最大限引き伸ばす。(左右は運動していません)

B ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、製品全体をゆっくりと押し込み、左右の [14: ISOFIX コネクタ] を ISOFIX 取付け金具に接続する。

C 左右それぞれのコネクタから「カチッ」と音が聞こえるまでチャイルドシートを押し込み、左右の [16: ISOFIX 接続表示] が「赤色」から「緑色」に変ったことを確認する。

D ベースを前後させ、[14: ISOFIX コネクタ] が伸縮しない (ロックされている) ことを確認する。

### 3 トップテザーをアンカーに接続する

A トップテザーを、車両のヘッドレストの下の隙間に通す。

B [22: トップテザーフック] を車両のトップテザーアンカーに固定する。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書を確認してください。

C [18: トップテザーベルト] を [21: トップテザーインジューター] が「緑色」になるまで引っ張り、それ以上引っ張らないでください。

D [18: トップテザーベルト] の先端にある結束ベルトの面ファスナーはシートカバーに触れると生地表面をいためるおそれがあるため、取扱いには十分注意してください。

E [19: トップテザーアジャスターボタン] を強く押し、[18: トップテザーベルト] をゆるめてから [22: トップテザーフック] をはずす。

### 4 接続表示確認と固定確認

1.ベビーモード 2.チャイルドモード 3.ハイバックモード

取付けが終わったら本製品がしっかり固定されていることを確認します。しっかり固定されていないと衝突の際、充分性能を発揮できません。

A 左右の [16: ISOFIX 接続表示] が「緑色」になっていることを確認する。

B 座席の背もたれにベースが接していること。車両によっては、しっかり押し込んで完全に接しない場合があります。座席の背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調整してください。

C A-B を確認し、しっかり固定できていない場合は一旦取りはずし、もう一度 [14: ISOFIX コネクタ] の差し込み操作 [2] A からやり直してください。

### 5 お車から取りはずすとき

1.ベビーモード 2.チャイルドモード 3.ハイバックモード

取りはずしの操作は片側ずつ操作してください。

A [15: コネクタ操作ハンドル] に指をかけて [17: コネクタ解除ボタン] を引き、[14: ISOFIX コネクタ] を車両の ISOFIX 取付け金具から引きはなす。接続を解除する。

B 解除した状態で、ベース (操作している側) を少し手前に引き、座席から取りはずす。片側だけ大きく引き出すと反対側の操作がしにくくなります。

C [14: ISOFIX コネクタ] の解除が固い場合  
座席の反発力によって、コネクタ解除が固くなる場合があります。固い場合は、①ベース前方の片側の端を持ち、ベースを座席の背もたれに押しつけてながら、②上記の [14: ISOFIX コネクタ] を取りはずすの操作を行ってください。座席がリクライニングできる場合は後方に倒すと、はずしやすくなる場合があります。

### 3.ハイバックモード 車両3点式シートベルトのみの固定の場合

A [14: ISOFIX コネクタ] は使用しないためベース内に格納してください。

B ベース及びシート背面が車両座席の背もたれに密着するように置いてください。密着しない場合は、座席の背もたれをリクライニングさせ、隙間がない角度に調整してください。

C 車両への固定は、お子さまを座らせ、車両シートベルトでお子さまと一緒に拘束固定します。 [2] 参照

STEP3. 取付けを確認する ●お車への取付けの際、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室までお問い合わせください。(TEL.0567-27-0173)

### 1.ベビーモード

A 車両の進行方向に対して後向きになっていること。  
B 左右の [16: ISOFIX 接続表示] が「緑色」になっていること。  
C [18: トップテザーベルト] が左右どちらか片方の [23: トップテザーベルトガイド] を通っていること。  
D [22: トップテザーフック] が車両側のトップテザーアンカーにしっかりと固定されていること。  
E ベース背面が車両座席の背もたれに密着していること。

### 2.チャイルドモード

A 車両の進行方向に対して前向きになっていること。  
B 左右の [16: ISOFIX 接続表示] が「緑色」になっていること。  
C [22: トップテザーフック] が車両側のトップテザーアンカーにしっかりと固定されていること。  
D [23: トップテザーベルトガイド] は使用しません。  
E ベース及びシート背面が車両座席の背もたれに密着していること。

### 3.ハイバックモード

A ハイバックモードに変更していることを確認してください。  
B 車両の進行方向に対して前向きになっていること。  
C 左右の [16: ISOFIX 接続表示] が「緑色」になっていること。  
D ベース及びシート背面が車両座席の背もたれに密着していること。  
E [22: トップテザーフック] が TT フック係留具に留められていること。

お子さまの乗せ降ろし 1.ベビーモード 2.チャイルドモード 3.ハイバックモード

### 1-1-2-1 乗せる準備をする (幼児ベルト引きのばし方)

お子さまの身長に合わせた使用条件(前向き・後向き)を確認する。

A お子さまの月齢が15ヶ月を超えるまでは前向きで使用しないこと。  
B 両手(7: アジャスターレバー)の奥側を押しながらか片方の手で左右両方(2本)の [4: 幼児ベルト] を同時に手前へ引き出す。

C このとき、[3: 肩ベルトカバー] を引かないように注意してください。

D [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。

E [4: 幼児ベルト] を左右外側に大きく開いてお子さまの座るスペースを確保する。

### 1-2-2-2 お子さまを座らせる

[6: パックル] がお子さまの股の間に取まるようにして、お子さまをシートに奥深くに座らせる。  
[24: インナーパッド] はお子さまの身長が60cmを超えたら取りはずしてください。  
A お子さまが正座しないようにしてください。  
B おしりと [24: インナーパッド] の間にすき間ができないように深く座らせてください。

### 1-3-2-3 幼児ベルトの高さ調整

[3: 肩ベルトカバー] をゆるめたあと [1: ヘッドアジャスター] を上向きにつまみながら上下させると [2: ヘッドレスト] の高さや連動して [4: 幼児ベルト] の高さが変わります。お子さまを乗せるときには、下図に従い、幼児ベルトの位置はお子さまの肩の高さに調整してください。

### 1-4-2-4 幼児ベルトの高さ調整

ベビーモード 4: 幼児ベルト  
チャイルドモード 4: 幼児ベルト  
ハイバックモード 4: 幼児ベルト  
お子さまの肩と同じ高さか、やや低めから [4: 幼児ベルト] が出る位置が、肩より少し高くなるように [2: ヘッドレスト] の高さや連動して調整してください。  
※工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。

### 1-5-2-5 拘束ポイントを確認する

A [4: 幼児ベルト] を引っ張って、[6: パックル] や [4: 幼児ベルト] がゆるまない確認する。  
B [4: 幼児ベルト] がねじれたら、お子さまの肩の中央と腰骨の間にだけ低い位置を通していることを確認する。  
C お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時などに重大な傷害を負う可能性があります。  
D [6: パックル] に異物が詰まったり、飲み物がこぼれたり、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。  
E お子さまの肩幅のたびに、必ず [8: アジャスターベルト] を引き、お子さまを拘束してください。  
F かさばる服を着せた状態で、本製品に座らせないでください。  
G 幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。

### 1-6-2-6 幼児ベルトを降ろす (幼児ベルト調節)

A 片方の手で [7: アジャスターレバー] の奥側を押しながらか片方の手で左右両方(2本)の [4: 幼児ベルト] を同時に手前へ引き出す。  
B このとき、[3: 肩ベルトカバー] を引かないように注意してください。  
C [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。  
D [4: 幼児ベルト] を左右外側に大きく開く。  
E ①お子さまの腕を [4: 幼児ベルト] からはずし、②お子さまをチャイルドシートから降ろす。

### 1-7-2-7 緊急時に [6: パックル] の赤いボタンを押しても、[5: タング] がはずれない場合はシートベルトカッター (市販品) などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

### 1-8-2-8 うまくいかない時は

① [6: パックル] の赤いボタンが固く押せない。  
→ お子さまが誤って解除しないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。  
② [6: パックル] に [5: タング] がはまらない。  
→ [5: タング] は左右別々の状態ではなりません。左右の [5: タング] を重ねながら [6: パックル] に差し込んでください。裏面に注意してください。  
③ [4: 幼児ベルト] のおしりが反転できない。  
→ ねじれた部分を、指で抑えながらタングを通してあげてください。  
④ [4: 幼児ベルト] が短い。  
→ [4: 幼児ベルト] をしっかりと引き出されていない可能性があります。[7: アジャスターレバー] を押し込んで、[4: 幼児ベルト] を引き出してください。  
⑤ [1] ② A, B 参照

### 2-1-2-1 ハイバックモードへの変更手順

変更は車両から外した状態で行ってください。 [5] 参照

A モード変更の前 [4: 幼児ベルト] を最大限に引き伸ばしてあげてください。 [1] ② A, B 参照  
B [24: インナーパッド] を外してあることを確認してください。  
C [6: パックル] の角を肩ベルトの裏面に引っ掛ける。  
D [8: アジャスターベルト] をたたくで座面に置く。座面カバーを戻し、本体サイドのホック (2箇所) をとめる。  
E 背もたれカバーをめくる。  
F ヘッドレストカバーの背もたれ部分を上にめくる。  
G [2: ヘッドレスト] と背もたれにある幼児ベルト通し穴が重なるようにヘッドレストの高さを調整する。(ヘッドレスト高さが最下段から数え4段目の位置で穴が重なります)  
H [3: 肩ベルトカバー] の面ファスナーをはずし、[4: 幼児ベルト] から [3: 肩ベルトカバー] をはずし、左右の [3: 肩ベルトカバー] だけをそれぞれ幼児ベルト通し穴に貫通させ、本体背面側から引き抜いて取りはずす。  
I [2: ヘッドレスト] を最高位まで引き上げておきます。  
J [5: タング] を背もたれにある収納スペース (パイプ状) に落とす。  
K [5: タング] の角がカバー面に突き出さないようにしてください。  
L 肩ベルトカバーとバックルカバーの収納保管  
M 背もたれ下部にある収納スペースを確認し、その中に [3: 肩ベルトカバー] とバックルカバーを収納し保管する。  
N 左右の [3: 肩ベルトカバー] はスベリ止めのゴム同士の合わせを押し込みやすくなります。  
O ヘッドレストカバーを元にもどり、背もたれカバーのホック (4箇所) をとめる。  
P モード変更が終わりましたら本面上段の、3.ハイバックモードの固定内容確認後、お車へお戻りください。  
Q はずしたインナーパッド、肩ベルトカバーは振くさないように注意してください。

### 2-2-2-2 2 お子さまを座らせ 車両シートベルトで拘束する

A 本モードでは、[24: インナーパッド]、トップテザーは使用しません。  
B 幼児ベルトをはずし、[2: ヘッドレスト] の高さを一番高い位置に調整し、お子さまを奥深く座らせてください。  
C 3点式車両シートベルトの固定の場合、ベース内に格納されていること、確認の必要はありません。  
D 車両シートベルトの [11: 肩ベルトガイド] と [12: 腰ベルトガイド] を通し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。  
E 各ベルトガイド部分は、緑色のタグが付いています。 [23: トップテザーベルトガイド] は除く。  
F 肩ベルトガイドは、片側のみの使用します。  
G 次のような座らせ方は、シートが本来の機能を果たさず、危険です。  
H ① 体を左右どちらかに傾けて座る。  
② 立てひざ・中腰・正座などをする。  
③ 肩がこまる、のけぞる。  
I [車両シートベルト高さの目安]  
J ① お子さまの肩の高さ [2: ヘッドレスト] を上下させて、[11: 肩ベルトガイド] が肩と同じ高さか、やや高い位置になるように調整してください。  
K [3: 参照]

### 2-3-2-3 拘束ポイントを確認する

A チャイルドシートと座席の背もたれとの間に大きなすき間がないこと。  
B シートベルト (肩側) が [11: 肩ベルトガイド] [12: 腰ベルトガイド] を通り、お子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。  
C 車両シートベルトがお子さまの体に密着している、ゆるみ、たるみ、ねじれないこと。  
D 車両シートベルトのタングプレーとバックルが確実に接続されていること。  
E 車両シートベルト (腰側) は、腰骨の出るだけ低い位置にかかると調整した方がよいように調整してください。  
F 車両シートベルトは左右に緑色の [11: 腰ベルトガイド] にかかると通します。  
G ① お子さまの腕は必ずシートベルトの上に出してください。  
② お子さまの動きなどで車両ベルトが緩んだときは、車両ベルトのたるみがない様、密着させて使用してください。  
H ① お子さまを降ろすにあたり  
② 車両3点式シートベルトに固定の場合は、必ず車両シートベルトのタングプレーと車両バックルに戻しておいてください。

メンテナンス

### 1 カバーを取りはずす/取り付ける

ヘッドレストカバーの取りはずし

A 最初に [24: インナーパッド] をはずします。  
次に、幼児ベルトを引き伸ばします。 [1] ② A, B 参照  
B [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずし、バックルカバーを取りはずします。 [5] A 参照

B [2: ヘッドレスト] を上方に上げ、ヘッドレストカバーにあるゴムベルトを外しながら、上から前方にはがし、左右の [11: 肩ベルトガイド] 部分を抜き取り、ヘッドレスト本体から取りはずす。

シートカバーの取りはずし

C 背もたれカバー、フラップ部分のホック (4箇所) をはずし、背もたれカバーを手前へ倒し回す。  
D 背もたれ背面のホック (2箇所) と両サイド後下部のホック (2箇所) を外す。  
E 座面カバーを外側からはがし、上方へ抜き取る。

カバー取り付け

① 携帯の動画撮影機能等を利用するなどして、最初の位置を覚えておいてください。  
商品により、留め方が異なります。

② カバーを取り付ける場合は、この作業を逆手順で行ってください。  
[E] → [D] → [C] → [B] → [A]

### 2 重要な注意すべき点

シートカバー、ベルト類、クッション類、インナーパッド、バックルなどは、チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。カバーを取り付けは、必ずメーカーの認定交換パーツのみを使用するようにし、紛失または、取り付け忘れがないように十分注意してください。

### 3 洗濯と日常のお手入れ

日常のお手入れ方法

●取りはずしができるキャビネ、ウレタン、クッション類は取りはずしてから手洗いしてください。(一部商品によっては洗えないものがあります)  
●洗剤は中性洗剤を使用し、よくすすぎ、脱水機で乾燥させてください。  
●乾燥機は、ほこりやゴミを取ってください。  
●飲み物など、しみや汚れがひどいときは、乾かないうちに拭き取ってください。  
●部品の取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

●ガソリン、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や次亜塩素酸水、原液の中性洗剤などの薬品は使用しないでください。樹脂部品や縫製製品をいためるおそれがあります。

### 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管

●製品本体を長期使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。  
●お住まいの自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。  
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用できないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品タイプ W450 D515 H585mm (最上位 ISOFIXコネクタ格納時)  
材質 本体 PE、ウレタン  
シートカバー 表/ポリエステル 裏/ウレタン